

この記事は当社が神奈川県ペストコントロール協会のホームページに寄稿したものです

【現場レポート】庭木にできた巨大な塊の正体は？ミツバチの生態と駆除・撤去の裏側

こんにちは！神奈川県ペストコントロール協会です。私たちは、皆さんの安全で快適な暮らしを守るため、日々害虫・害獣駆除の現場へ駆けつけています。

今回は、先日ご依頼いただいた「庭木にできたハチの巣」の駆除事例をご紹介します。

一見すると驚くような光景ですが、ハチの習性を知ることで、万が一の際にも冷静に対応できるようになります。ぜひ最後までご覧ください。

1. 今回の駆除対象は「ミツバチ」！その特性とは？

ハチと聞くと「スズメバチ」や「アシナガバチ」を思い浮かべる方が多いかもしれません。まずは、今回駆除を行ったミツバチの特性と、他のハチとの違いを簡単にご説明します。

・ ミツバチ(今回ご紹介するハチ)

- **特徴:** 体長は 1cm～1.5cm ほどと小さく、全体的に毛に覆われています。
- **性格:** 本来はとても温厚で、こちらから刺激しない限り滅多に刺してくることはありません。
- **巣の特徴:** 何枚もの平たい板状の巣(巣脾:すひ)を並列に作ります。数千～数万匹という大群で行動するのが特徴です。

・ スズメバチ

- **特徴:** 大型で攻撃性が非常に高く、巣に近づくだけで威嚇・攻撃してくる危険なハチです。巣はボール状の丸い形をしています。

・ アシナガバチ:

- **特徴:** 足が長く、お椀をひっくり返したようなシャワーヘッド状の巣をベランダや軒下によく作ります。
-

2. ミツバチはどんなところに巣を作る？



ミツバチは通常、雨風がしのげる「閉鎖的な空間」(木のうろ、屋根裏、床下、壁の隙間など)を好んで巣を作ります。

しかし、今回ご依頼いただいた現場では、このように**庭木の太い枝の下**に作られていました。直径約 30 センチ、ハチ自身がびっしりと重なり合って巣を守る塊を作るため、遠目からは「木に不自然な黒い塊ができています」ように見えます。

ミツバチは春先に、新女王ハチが働きバチを連れて一斉に引っ越しをする「分蜂(ぶんぽう)」という行動を起こします。その際、一時的にこのように木に集ま

って塊を作ることがありますが、数日で移動しない場合は、そこに定着して本格的な巣作りを開始してしまいます。

3. 駆除・撤去作業の様子

ミツバチは益虫(植物の受粉を助けるなど人間に有益な昆虫)としての側面もありますが、生活圏のすぐ近くや、小さなお子様・ペットが通る場所に大きな巣ができてしまうと、やはり刺傷被害のリスクが高まり危険です。

今回、お客様とご相談の上、安全第一で駆除・撤去作業を行いました。

① 防護服の着用と薬剤による駆除

まずは周囲の安全を確保し、専用の防護服を着用します。ミツバチは数が非常に多いため、一斉に飛び立つと大変危険です。周囲にハチが拡散しないよう、プロ仕様防除用殺虫スプレーを的確に噴射し、迅速に動きを抑えていきます。



② 巣の全容と撤去

ハチの体で隠れていた「巣」の全貌が姿を現しました。

ミツバチの巣は純粋なミツロウでできており、非常に精巧です。この巣を、枝を傷つけないよう丁寧に根元から削ぎ落として撤去します。最後に、戻ってきたハチ(戻りバチ)対策の処置を施し、無事にすべての作業が完了いたしました。



4. もしハチの巣を見つけたら？

お庭や所有地で「見慣れないハチの塊」や「巣」を見つけたときは、決して近づいたり、棒で叩いたりして刺激しないでください。ミツバチであっても、巣を守るためには必死に防衛行動(刺す)をとってきます。

「これってスズメバチ？ミツバチ？」と判断がつかない場合も、どうぞお気軽に私たちにご相談ください。

神奈川県ペストコントロール協会の会員企業は、確かな技術と専門知識を持って、皆さんの安心な暮らしをサポートいたします！